

文章番号	全体-36
版番号	初版
制定日	R6.3.26
改正日	R6.3.26

令和6年度

# 事業計画書

社会福祉法人総合施設  
美吉野園

承認	確認	作成
		
R6.3.26	R6.3.10	R6.3.1

# 【法人の部】

## 1. 基本理念

# 社会福祉法人 総合施設美吉野園

## 品質方針

総合的な福祉サービスの質向上活動の展開により、ご利用者・ご家族の期待とニーズに応える福祉サービスを実施するために、社会福祉法人総合施設美吉野園の経営理念を品質方針として定める。

### 基本理念

◇ご利用者に安らぎと幸せを  
◇職員は真心と向上を

#### 法人指針

- 目指すもの
  - \*社会貢献、地域貢献
  - \*より良き運営
  - \*グローバルな感覚
- 大切にすること
  - \*職員 多様性を尊重し、成長を支援します。
  - \*ご利用者 かけがえのないパートナーになります。家族意識を持って親切に誠意を尽くします。
  - \*サービス技術 常にスキルアップを目指します。
  - \*サービス品質 常に向上を目指します。

#### 行動指針

- 常に社会環境に目を向け、良き社会人として行動します。
- ご利用者の立場に立って誠意を尽くします。
- 現場、現実を直視し、ご利用者の安全を守ります。
- チャレンジ 高い目標を掲げ、達成に向けて粘り強く行動します。
- スピード対応 目標に向かって迅速に、臨機応変に行動します。  
連絡は素早く、報・連・相を大切に。
- チームワークを大切 組織を超えて目的を共有します。

#### 行動規範

- 人権尊重
- 法令遵守
- 公平・公正
- 機密の保持
- 権限・責任一致の原則
- 業務上の立場を私的に利用しません。

#### 事業方針

- 自己革新により、ご利用者により良いサービスを提供します。
- ソリューション（解決力）を高め、地域コミュニティーを大切にします。
- 各セクション連携を深め、地域に密着した事業展開を行います。

## 2. 基本的な考え方

令和6年度は、第9期介護保険事業計画、第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画の初年度となります。

2025年には団塊の世代が全員75歳以上となり、2040年に高齢者人口がピークに達します。高齢者の急増に備え、介護サービス基盤整備や地域包括ケアシステムの強化、介護人材の確保等が中長期の目標となります。

同時に、報酬改定においては2025年と2040年の問題が医療・介護における重要なテーマとなっており、連携強化やDX推進が焦点です。

2025年目標の地域包括ケアシステムの構築が進む中、施設間の連携強化が必要とされています。医療・介護のDX化において、電子カルテの情報共有やICTの活用を通じたデジタル化が進められ、各段階でのデータ活用が期待されています。

また、報酬の適正化も医療・介護の課題であり、2025年と2040年問題を踏まえ、慎重に利用者負担や保険料への影響を考慮しつつ、診療報酬と介護報酬の引き上げが検討されています。

これらの取り組みは、制度の持続可能性を確保する上で不可欠な措置となっています。

## 3. 基本方針

法人は新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、アフターコロナ時代に向けての変革に取り組み、感染対策を徹底し、施設ライフの安心と安全を追求します。

一方で、100年の目標に向け、サステナビリティとインクルーシブな社会への貢献を重視します。

このため、今年も基本的な感染対策を継続し、職員は幸福な働き方を追求する一方で、地域社会に喜びと幸福を提供し、より良い介護、支援、看護につなげることが重要です。

長期的な視点で、「M's welfare」を掲げ、20数年の期間で理想の施設像を築き上げるための取り組みを提案し、将来の理想像を共有し、少子高齢化に対応する柔軟性も持ちながら、地域全体で幸福な社会を構築することを目指していきます。

また、職員の幸福な働き方を追求するために、ウェルビーイングを強調し、持続可能な幸福を求め、多様性を尊重し、コミュニケーションを円滑にし、小さなモチベーションも大切にすることが、生産性向上や離職率抑制に繋がると考えます。

これらの取り組みを通じて、法人は地域社会に対して継続的な価値を提供し、社会的な責任を果たしていくことを強く志向しています。

### 今年のキャッチフレーズ

アフターコロナのニュー・スマイル!!を更新

### 今年のキーワード

『スマイル モア スマイル!!』

『M's スマイル!!』

## 4. 事業の重点事項

### (1) 人づくり（人財確保・定着・育成）

- ・ 多様性のある人材の尊重（発掘・育成・個性の重視）
- ・ 人的資源リスク（法人のエンゲージメントを高める）
- ・ 各セクションの連携強化と深化

- ・ コミュニケーションの環境の整備
  - ・ ICT化への取組と労働時間の厳守
  - ・ 介護現場のより良いイメージ作り
- (2) **アフターコロナへの対応**
- ・ つながる力・つなげる力を意識し、支え合いのある地域共生社会の実現への取組み
  - ・ 分野横断的な対応を求められる課題への取組み
  - ・ 介護予防・フレイル対策、認知症予防への取組み
- (3) **環境への配慮**
- ・ グリーン社会の実現に向けた無駄の排除（食事、エネルギー、紙）
- (4) **感染症・災害への対応力向上**
- ・ 新興感染症の発生時等の協定締結医療機関との連携体制を構築
  - ・ 業務継続計画（BCP）による定期的な研修、訓練（シミュレーション）の実施
- (5) **報酬改定への対応**
- 2025年以降の課題は、高齢者急増と現役世代急減
- ・ サービス提供を維持するために効率的な業務と人材確保
  - ・ 「地域完結型」アプローチで利用者に効率的なサービス提供
  - ・ 地域で優位性を築き、共有システム・ITを活用し総合施設の利点を活かす。
  - ・ 地域内でのサービス展開を基本とし、職員移動の短縮によるサービス提供数を増やすことで効率化を図る。

## 5. 事業内容

### (1) 老人寮入所定員変更について

人口減少、少子高齢化社会の加速、並びに各法改正に伴う高齢者福祉を取り巻く情勢やニーズが大きく変化する中、老人寮の利用率が60%台を推移している。

このことから、近い将来の福祉ニーズに対応するため、定員30名を減少させ、80名とし引き続き、生涯生活を支える高齢者支援の拠点としての役割を果たす。

### (2) 看護・小規模多機能型居宅介護サービス開設について

老人寮の定員を30名減少させ、その後1人暮らし高齢者等の看取りを含む高齢者の包括支援サービスが提供可能となる看護小規模多機能型居宅介護サービス（定員29名）を令和7年1月開設予定。

これにより、退院後の在宅生活への移行や看取り期の支援、家族へのレスパイトなど、様々なニーズに応じて、主治医との密接な連携を基に医療行為を含む「通い」「泊まり」「訪問（看護・介護）」などのサービスを一体的に提供し、地域での生活を総合的に支える。

### (3) 大淀町地域包括支援センターとの人事交流について

地域共生社会を実現に向け、地域包括ケアシステムの深化が重要である。

センターは、地域の高齢者福祉の拠点であり、地域に根ざした様々な業務を実施していることから、民間事業者の柔軟な発想や効率的な運営方法を導入することで、高齢者福祉の能率的な運営が図られる。

また、法人は経験豊かな職員に人事交流の場に参画させ、職員の更なる育成と地域福祉への貢献を積極的に推進する。

#### (4) 外国人介護人材確保について

人口減少や急激な少子高齢化に伴い、介護を支える人材不足が深刻化し、介護人材確保が急務となっている。

このようなことから、外国人材の受入れを行う事により福祉サービスの安定的な供給を図る。外国人介護人材の受け入れは EPA、介護資格、技能実習など複数のルートがある。

法人は今年度、技能実習と特定技能実習制度を活用し、中国人 2 名、ミャンマー人 3 名の外国人スタッフを受け入れる。この際、特に言語や文化の違いを理解し、偏見を持たずに定着するようサポートを行う。

#### (5) 新たな処遇改善について

昨年 11 月に閣議決定された「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に基づき、賃上げ効果が継続される取り組みを行うことを前提に「介護職員処遇改善補助金」として令和 6 年 2 月～5 月の収入を 2%程度（1 人当たり月額平均 6,000 円）引き上げる措置が行われた。これを受けて法人では令和 6 年 2、3 月分を一時金として支給し、令和 6 年度は処遇改善支援手当および一時金として支給する。

#### (6) 看護・小規模多機能型居宅介護サービス改築について

看護小規模多機能型居宅介護サービスの改築に伴う費用及び補助金を下記のとおり予定している。

支出		
設計費用	1 式	6,600,000 円
改修費用	1 式	40,700,000 円
共通経費	1 式	16,500,000 円
介護用ベッド等備品	1 式	9,614,969 円
<b>合計</b>		<b>73,414,969 円</b>

収入	
奈良県地域密着型サービス施設等整備促進事業交付金	36,600,000 円
奈良県施設開設準備経費支援事業補助金	6,398,000 円
自己資金	30,416,969 円
<b>合計</b>	<b>73,414,969 円</b>

#### (7) 吉野学園エアコン交換工事について

吉野学園におけるエアコンの経年劣化に伴い交換を行うことで、ご利用者が安心・安全に過ごしていただける環境を整え、また生産性の向上へ繋げる。

支出	
吉野学園エアコン交換工事 室内機 83 台 室外機 72 台	56,100,000 円
<b>合計</b>	<b>56,100,000 円</b>

収入	
奈良県障害者施設整備費補助金	15,832,000 円
自己資金	40,268,000 円
<b>合計</b>	<b>56,100,000 円</b>

(8) 各種設備更新について（美吉野園・大淀園・インクルーシブケアセンター）

経年劣化に伴い計画的に入替を進めることで、ご利用者が安心・安全に過ごしていただける環境を整え、また生産性の向上へ繋げる。

（美吉野園）

内容	数量	費用
美吉野園ボイラー制御盤更新	2基	1,386,000円
合計		1,386,000円

（大淀園）

内容	数量	費用
エアコン室外機（レトロフィット更新）	2棟	5,775,000円
網戸補修（張り替え）	1式	2,200,000円
合計		7,975,000円

(9) ICT化への取り組みについて

生産性の向上及び科学的介護の実現へと取り組むため、今年度も引き続きICT化に向け積極的に導入を進め、ご利用者に安心・安全に過ごしていただけると同時に職員の負担軽減へと繋がる環境を整える。インクルーシブケアセンターのオンライン資格確認システムに於いては、導入にあたり社会保険診療報酬支払基金オンライン資格確認関係補助金を申請予定である。

（特養寮）

内容	数量	費用
見守り機器AAMS	1台	195,800円
見守りカメラ	2台	154,000円
合計		349,800円

（大淀園）

内容	数量	費用
見守り機器AAMS	1台	195,800円
ベッドセンサーマット	2台	121,000円
合計		316,800円

（インクルーシブケアセンター）

内容	数量	費用	補助金
オンライン資格確認システム	1台	600,000円	429,000円
合計		600,000円	429,000円

(10) Pono マルシェの開催について

令和6年5月19日（日）と10月にわーくさぽーとPonoにてマルシェを開催し、地域の方々とわーくさぽーとPonoが出店を行うことで、地域交流を図ると共に、自主生産を地域の方へ周知及び商品の良さをアピールし今後の販売促進に繋げる。また展示室を活用し、生活介護や就労継続支援B型における日々の活動内容について理解を深めていただく機会とする。



※写真…令和5年度開催分

# 【事業の部】

## 1. 法人の部 事務管理

### (1) 給与

人事考課制度に基づき賃金・賞与を支給し、また法人の業績を踏まえ、職員個人の役割や責任及び人事考課にて定期昇給を実施する。

処遇改善の面では現在「福祉、介護職員等ベースアップ等支援加算」に対し処遇改善支援手当（本年度より処遇改善支援手当①と称する）を支給しているが、この度新たに閣議決定された「福祉、介護職員処遇改善支援補助金」に対し処遇改善支援手当②を支給する。

### (2) サービス利用に関するアンケートの実施

年1回(9月) ご利用者・ご家族へ「ご利用者満足度アンケート調査」を実施する。  
ご利用者・ご家族の意見をより良いサービス提供につなげ、マネジメントサイクル（PDCAサイクル）を確立し、サービスの質の向上を図る。

### (3) 監査（内部監査、外部監査）及び審査

[内部監査]

◇ 年2回（9月・3月）実施

[外部監査]

会計監査（監査法人：清友監査法人による）

実施月	監査内容	監査人(予定人数)
令和6年4月3日	会計監査（各施設実査）	公認会計士 1名
令和6年5月7日	会計監査（期末取引記録）	公認会計士 4名
令和6年5月13日	会計監査（期末取引記録）	公認会計士 4名
令和6年5月14日	会計監査（表示チェック、結果報告）	公認会計士 4名
令和6年11月（予定）	会計監査（内部統制の整備状況）	公認会計士 4名
令和6年11月（予定）	会計監査（内部統制の運用状況）	公認会計士 4名
令和7年3月（予定）	会計監査（期中取引記録）	公認会計士 4名
令和7年3月（予定）	会計監査（期中取引記録）	公認会計士 4名

◇ 監事監査（令和6年5月）

◇ 奈良県指導監査（奈良県福祉医療部 監査指導室による）

◇ ISO サーベイランス審査： BSI グループジャパン（株）

令和6年4月25日～26日組織のマネジメントシステムが継続的に規格要求事項に適合し、該当する法的要求事項を満足するためのマネジメントシステムの能力を維持していること、及び特定した目的達成に関するマネジメントシステムの有効性が維持されているか検証される。

◇ 「奈良県福祉・介護事業所認証制度」認証審査（更新）

（奈良県福祉医療部 長寿・福祉人材確保対策課に提出）

実施月	監査内容	対象施設
令和8年3月	認証評価項目 6分野について書類審査、 現地審査を実施。 (①研修体制・人材育成方針 ②キャリアパス・ 給与体系 ③休暇制度・福利厚生 ④コンプライ アンス ⑤地域貢献 ⑥サービスの質の向上)	全施設

(4) 会議、委員会

法人内における各会議、委員会を別紙のとおり行なう。 【別紙① P. 49～51 参照】

(5) 研修

多様化する社会のニーズに対応出来る職員の向上を図ると共に豊かな人間性を持った福祉職員を育成する為に計画的に職場研修推進委員会が中心となって研修を行う。

- ① 法人研修 【別紙② P. 52 参照】
- ② 施設内研修、施設外研修 【別紙② P. 53～57 参照】

(6) 広報・地域における公益的な活動等

① 広報活動

美吉野園の魅力をより多くの方々へ発信する。

- ・美吉野園広報誌「さくら」を年4回発刊し大淀町の地域へ配布。
- ・ソーシャルメディア（法人ホームページ、Instagram等）で各種行事等を投稿発信。

② 地域における公益的な活動・地域貢献活動

「地域から信頼・信用される施設」を目指し、「地域共生社会」の実現に向け、福祉サービスのノウハウや経験、専門人材や施設・設備をより多くの地域の方に提供し、社会福祉のセーフティネットとしての役割を認識し、制度の狭間にある福祉ニーズに対応できる取組みを行う。

ア. 地域における公益的な活動（地域共生社会の実現に向けた取組み）

- ・ 出前講座「げんき塾」の開催  
（地域に出向き、ニーズに応じた内容：介護について、認知症について、障害について、制度について、脳トレ、腰痛体操、筋力維持トレーニング、悩み相談、健康相談等）
- ・ 「大淀町元気な地域づくり推進協議会 げんきかふえ」への参画
- ・ 「災害時における一時避難所」協定書締結（大淀町西町六丁目区）
- ・ 「災害時における福祉避難所」協定書締結（大淀町）
- ・ 「災害時における物資の供給」協定書締結（大淀町）
- ・ 防災用品等（段ボール製簡易ベッド）の備蓄
- ・ 災害備蓄品の管理（地域の方用：5日分）
- ・ 奈良県災害派遣福祉チーム（D-WAT）・大淀D-WATへの参画
- ・ 奈良県社会福祉法人共同事業まほろば幸いネットへの参画
- ・ 認知症サポーター養成研修、周知活動への参画
- ・ 介護保険サービスに係る利用者負担額軽減措置事業

- ・ 「生活困窮者就労訓練事業認定事業所」としての活動
- ・ 認知症カフェ『やすらぎカフェ』開催
- ・ わーくさぼーと Pono『まちライブラリー』開催

イ. 地域貢献活動 【別紙③ P. 58～59 参照】

- ・ 地域清掃、子ども見守り活動の実施（年3回）
- ・ 交差点見守り活動の実施
- ・ 交通安全啓発活動の実施
- ・ 特定非営利活動法人「結いの里」（大岩地区）の活動への参画

(7) 安全衛生

①職員の健康管理

- ア. 健康診断 年2回（5月・12月）（財）奈良県健康づくり財団による
- イ. 特定健康診査実施 診査結果で生活習慣病の危険が見つかった方には、特定保健指導
- ウ. 腰痛予防対策 衛生管理者並びに外部講師（理学療法士、健康運動指導士）による腰痛予防対策指針に基づく年1回の腰痛予防研修の実施。また、「介護用移乗機器」を活用し、介護職員の腰への負担軽減を図り、労働環境の改善に繋げる
- エ. メンタルヘルス対策 衛生管理者並びに外部講師（臨床心理士）による年1回のメンタルヘルス研修の実施。また年1回ストレスチェック（義務化）の実施並びに検査結果を集团的に分析及び産業医による心の相談窓口の設置
- オ. 心の健康づくりの「長期目標・年次目標」の設定

【別紙④ P. 59 参照】

②労働衛生管理

- ア. 産業医による労働衛生管理体制の整備。月1回以上職場巡視。
- イ. 衛生管理者による労働衛生管理体制の整備。週1回職場巡視。
- ウ. 施設栄養士の検便毎月1回実施（病原性大腸菌を含む）  
内夏季（5～9月）月2回実施（病原性大腸菌を含む）  
施設栄養士（必要に応じノロウイルス抗菌検査実施）
- エ. 委託給食担当者の検便毎月1回実施（病原性大腸菌含む）  
内夏季（5～10月）月2回実施（病原性大腸菌を含む）
- オ. わーくさぼーと Pono 自主生産事業担当者の検便毎月1回実施（病原性大腸菌含む）
- カ. 施設内感染症防止対策の強化（手洗い・消毒、咳エチケットの徹底を図る）並びに蔓延防止の呼びかけの実施
- キ. インフルエンザワクチン予防接種の実施
- ク. 新型コロナウイルス感染症検査の実施

# [ 資金収支予算計画 ]

平成28年度より会計監査人設置。内部統制を前提として財務状態、経営成績及びキャッシュフローの状況全て重要な点においての監査を実施し、今後もマネジメントサイクル(PDCAサイクル)を実行しながら常に先を見た経営を図る。  
 会計業務をアウトソーシング(外部委託)することにより、専門的な知識、ノウハウを有効活用し精査することで、質の向上を図り、信頼性を高める。  
 経営管理下においては、大規模修繕等将来のリスクに対する資金計画を立て「建物建替計画」「美吉野園建物等維持保全計画」に基づき、継続性・計画性の両方が備わった安定した経営を図り、消費量においてエコロジー活動に努める。【別紙⑧P.75～79参照】

## 1. 令和6年度 資金収支予算書

(自)令和6年4月1日 (至)令和7年3月31日  
 単位:千円

勘定科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	本年度拠点別予算額内訳							備考	
				本部拠点区分	老人寮拠点区分	特養寮拠点区分	吉野学園拠点区分	わーくさぼーとPono(吉野学園拠点)	大淀園拠点区分	インクルーシブケアセンター拠点区分		
収入												
事業活動収入計(1)	2,282,696	2,236,964	45,732	3,035	222,232	949,303	292,608	104,710	601,599	109,209		介護保険事業収入 障害福祉サービス等事業収入 老人福祉事業収入 就労支援事業収入等
支出												
事業活動支出計(2)	2,224,993	2,149,411	75,582	15,819	238,316	912,728	256,633	105,917	594,107	101,473		人件費支出 事業費支出 事務費支出等
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	57,703	87,553	△29,850	△12,784	△16,084	36,575	35,975	△1,207	7,492	7,736		
収入												
施設整備等収入計(4)	65,999	0	65,999	0	0	50,167	15,832	0	0	0		奈良県地域密着型サービス施設等整備促進事業補助金 奈良県障害者施設整備費補助金
支出												
施設整備等支出計(5)	155,268	81,647	73,621	20	652	88,798	56,645	4,322	4,026	805		固定資産取得支出 ファイナンス債務の返済支出
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△89,269	△81,647	△7,622	△20	△652	△38,631	△40,813	△4,322	△4,026	△805		
収入												
その他の活動収入計(7)	95,888	85,365	10,523	13,795	0	30,000	40,268	3,850	7,975	0		積立資産取得収入 (特養寮・吉野学園・わーくさぼーとPono・大淀園) 拠点区分間繰入金収入
支出												
その他の活動支出計(8)	58,796	91,754	△32,958	0	0	23,149	25,338	3	10,305	1		積立資産支出 拠点区分間繰入金支出
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	37,092	△6,389	43,481	13,795	0	6,851	14,930	3,847	△2,330	△1		
予備費(10)	25,944	11,151	14,793	991	2,000	4,795	10,092		1,136	6,930		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△20,418	△11,634	△8,784	0	△18,736	0	0	△1,682	0	0		
前期末支払資金残高(12)	904,226	778,094	126,132	53,600	63,806	322,577	122,035	10,240	254,218	77,750		
当期末支払資金残高(11)+(12)	883,808	766,460	117,348	53,600	45,070	322,577	122,035	8,558	254,218	77,750		

## 令和6年度 資金収支予算額 施設別状況

単位:万円

